〇〇さんの訳文へのアドバイス

「①ジミーラビット物語」

アーサー・②スコットベイリー

ウサギのジミーは、新しい尻尾を③欲しがりました。確かに、彼はすでに尻尾を持っています。けれどそれは、④「全く無いよりはマシだ」と思うほど短かったのです。リスのフリスキーとウッドチャックのビリーは、フサフサした立派な尻尾を持っていました。⑤そしてそれは、すべての森の住人たちも持っていました。⑥ジミーたち、ウサギの家族を除いて。

ジミーは、自分も素敵な尻尾を手に入れようと努力していました。そして、それは一度⑦成功しそうになってしまいました。彼は、フリスキーの持つ大きな尻尾を切り取ろうとしたのです。けれど、そこへフリスキーのお母さんがすんでのところで現れ、⑧フリスキーはその身の毛もよだつような悲劇から助け出されたのです。

その後もジミーは尻尾を手に入れようとしたましたが、誰も彼に尻尾を渡そうとしませんでした。それから彼は、尻尾を探しに旅立ちました。⑨いつか誰かが自分の尻尾を忘れて森の中に置き去りにし、どこに置いたかも思い出せなくなることを願って。

*総評

「です・ます」調の文体で、物語の楽しさが伝わる、いきいきとした訳文になっています。直訳にとらわれない訳語の選択が、原文の意図を的確に伝えられていて大変良いです。もう少し漢字を減らしてひらがなを増やすと（たとえば、「確かに」→「たしかに」、「全く」→「まったく」など）、より絵本らしい雰囲気になるでしょう。そのほかの細かいところは、訳例と下のワンポイントアドバイスも参考にして、これからもがんばってください！

*ワンポイントアドバイス

- ①簡潔にまとまっていますが、本文では「ウサギのジミー」としているので、一貫性があった方がよいでしょう。
- ②ミドルネームとラストネームの間にも、中黒・を入れてください。
- ③wanted 過去の1回のできごとではなく、状態を指しているので、ほしがっていました、などにしましょう。
- ④内容を理解し、表現をよく工夫されています。原文通りの語順で、原文通りに「」引用符をつけずに調整するとなおよいでしょう。
- ⑤少しぎこちないので、取ってしまったてもよいでしょう。
- ⑥原文通り、最後に持ってきたのはとても良いです。
- ⑦nearly succeeded、しっぽを取られそうになったリスにとっては大変でしたが、原文のこの文章は中立的に書かれていますので、「成功しそうでした」などでよいでしょう。

⑧原文の大袈裟な表現を理解した上で、よく工夫された訳になっています。

⑨長いセンテンスですが、自然な流れになっており読みやすく、素晴らしいです。